

一、事業主側

東京安船業組合ニアリテハ争議ノ為メ取引先ニ於ケル解船ノ
停滯ノ憂慮シ之カ因テ固ル為五月十六日横浜共同安船業組
合ノ応援ヲ受ケテ汽船十六隻ヲ配船シ、尚王子、赤羽方面
ノ企業者ヲ又動員シテ營業ヲ繼續シ甚シキ支障ナキカ如クナル
モ平素船員ノ相属優遇シ居リテ本争議ニ捲添ノ形ナル一部ノ
事業主ハ安船業組合ノ不統制ニ不満ヲ抱キテ争議団側ト個人
交渉ヲ希望スルモノアリテ五月十七日開催ノ總會ニ於テ又確
軟兩派ニ歧シ容易ニ意見ノ一致ヲ見ルニ至ラザリシカ結局後
記ノ如ク議決案ヲ得ルニ至シリ

ニ、労働者側

労働者側ハ芝區新鐵座町地先集留ケ所ニ約百余名集合シテ氣
勢ヲ揚ケ居レルモ幹部ヨリ輕拳ヲ戒ムル處アリテ特ニ不穩ノ
行動ナシ

五月十七日争議参加状況別表ノ通

三、交渉状況

五月十七日午後十時三十分ヨリ水上警察署樓上ニ於テ、令署
長ノ斡旋ニヨリ、事業主側三田吉治以下七名役員側前妻徳
壽以下八名會見交渉ノ結果要求事項ノ第一項公休支給ノ件
令第二項時間外手當支給ノ件、令第四項公傷病手當支給ノ件
ハ大体事業主側ノ承認ニヨリ折合ヒタルモ第三項最低給料制
定ノ件ハ事業主側ヨリ承認シ得ラレサル旨回答セル為決裂ノ
状態ナリシカ調停者(署長)ヨリ一先考慮ヲ促シタル結果ハ
事業主側ハ別室ニ於テ熟議中ノ欠労働者側ハ次ノ議決案ト
ハ争議犧牲者ヲ出サ、ルコト
ハ争議中給料ヲ支給スルコト
ハ汽船乗組員ハ海友同志會負トスルコト
ヲ附加要求ノ提出セル為メ事業主側ハ之ヲ總會ニ諮問シ翌日